

令和3年度決算報告
歳入の総額は63・7億円

新型コロナワクチン接種事業
4,791万5千円



新型コロナウイルスに対する免疫を作り出し、重症化を防ぐためのワクチン接種を行いました。

子育て世帯への臨時特別給付金事業
1億360万円



コロナ禍が長期化する中で、家計が厳しい子育て世帯を支援するための臨時特別給付金を支給しました。

新庁舎建設事業
3億5,595万3千円



役場新庁舎を現在の敷地内で建て替えるため、建設工事を開始しました(令和4年度完成予定)。

昭和村商工会館改修事業
1,710万円



昭和村商工会の拠点である商工会館の耐震補強を柱とした改修事業に対し補助しました。

昭和村商品券配布事業
7,111万円



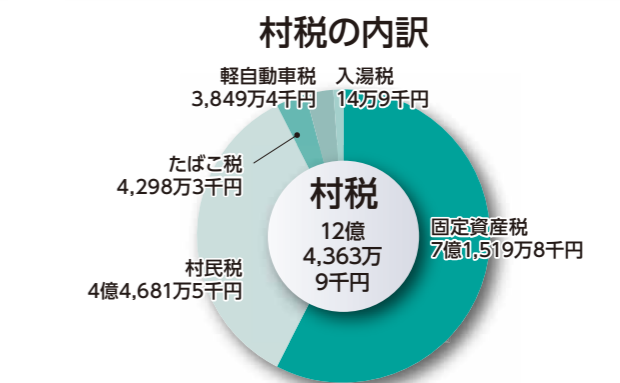
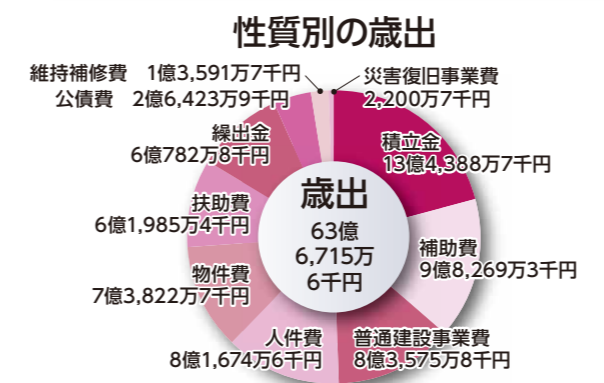
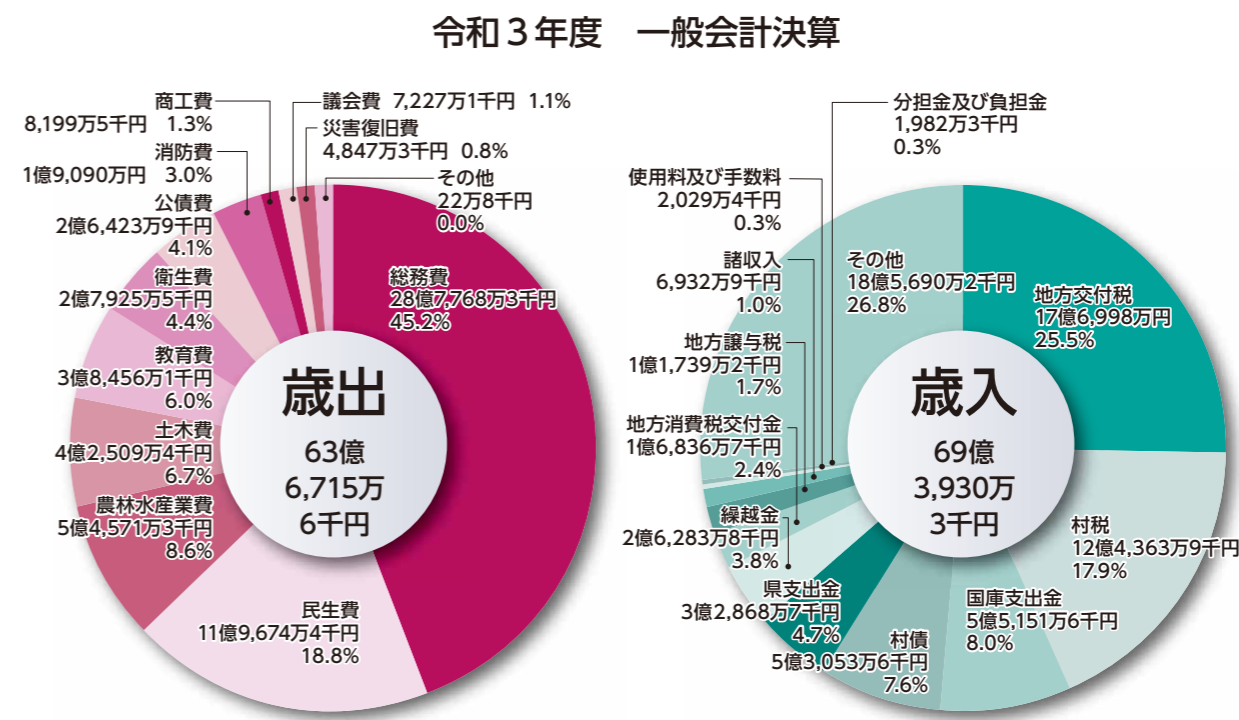
コロナ禍による家計の負担軽減と村の経済活性化のため、ふるさと納税を活用し、村独自で商品券を配布しました。

吹張区住民センター建設事業
2,714万9千円



旧集会所の老朽化に伴い、吹張区の新たなコミュニティ拠点となる吹張区民館の建設に対し補助しました。

昭和村のお金の使い道
昨年度はこんな事業を行いました



地方債と基金の現在高

項目	令和2年度	令和3年度	差引
地方債等			
一般会計	26億1,148万5千円	28億8,449万8千円	2億7,301万3千円
簡易水道事業	2億3,585万6千円	3億5,261万8千円	1億1,676万2千円
農業集落排水事業	12億9,383万円	12億2,138万1千円	▲7,244万9千円
戸別浄化槽事業	1億2,376万1千円	1億2,097万円	▲279万1千円
債務負担行為	0円	0円	0千円
基金			
財政調整基金	16億3,983万4千円	19億3,047万9千円	2億9,064万5千円
学校校舎建築基金	6億1,132万円	8億3,364万円	2億2,232万円
減債基金	3億2,423万4千円	3億2,425万1千円	1万7千円
公共事業整備基金	11億3,063万円	11億3,067万1千円	4万1千円
その他	16億9,518万9千円	21億3,952万5千円	4億4,433万6千円
計	54億1,207万7千円	63億5,856万6千円	9億5,735万9千円

地方債とは、村が1会計年度を超えて行う借入れのこと。一時的に多額の支出がある場合は、住民サービスを低下させないため地方債を発行しています。

基金は、支出する目的ごとに積み立てられている貯金。必要に応じて使用しています。

財政健全化の判断比率など

判断比率項目	令和2年度	令和3年度	早期健全化基準(財政悪化の基準値)
実質赤字比率	-	-	15.00
連結実質赤字比率	-	-	20.00
実質公債費比率	5.8	5.1	25.00
将来負担比率	-	-	350.00

財政健全化判断比率は、財政状況を判断する指標の一つ。実質赤字額、連結赤字額がなく、また将来負担比率もマイナスとなったため「-」で表記しています。昭和村は、早期判断基準より低い数値となっています。

特別会計名	令和2年度	令和3年度
簡易水道事業	-	-
農業集落排水事業	-	-

公営事業の健全化基準としての指標。昭和村は黒字であるため、資金不足比率は「-」で表記しています。

令和3年度 特別会計決算

(%は前年度比)

特別会計	歳入	割合	歳出	割合
国民健康保険特別会計	13億1,381万2千円	7.1%	12億4,993万9千円	4.5%
簡易水道事業特別会計	3億997万円	73.8%	2億8,992万2千円	106.3%
農業集落排水事業特別会計	4億3,418万4千円	9.7%	4億2,145万6千円	10.4%
介護保険特別会計	8億6,676万円	2.0%	7億8,351万9千円	▲3.4%
後期高齢者医療特別会計	8,721万1千円	▲0.9%	8,625万5千円	▲1.1%

- ▼歳入
 - 村税 村民税や固定資産税など、村民の皆さんからの税金。
 - 地方交付税 財源の地域格差を調整するため、合理的な基準で国から交付されるお金。
 - 国庫・県支出金 特定事業に対し、国や県から使い道を指定されて交付されるお金。
 - 地方譲与税 国税から一定の基準で市町村に譲与されるお金。
 - 村債 事業を行うために村が借り入れるお金。
- ▼歳出
 - 民生費 児童、高齢者、障害者などの社会福祉にかかる経費。
 - 総務費 庁舎の管理や選挙、住民票などの発行にかかる経費。
 - 衛生費 健康増進、疾病予防、環境保全などにかかる経費。
 - 公債費 事業を行うために国や銀行などから借り入れたお金の返済にかかる経費。
 - 教育費 学校教育、社会教育などの教育行政にかかる経費。
 - 土木費 道路や橋などの整備や維持管理にかかる経費。
 - 農林水産業費 農林水産業の振興にかかる経費。
 - 消防費 消防、防災などにかかる経費。

令和3年度の各会計決算がまとまりました。村民の皆さんが納めた税金や国・県からのお金の主な使い道など、村の財政事情をお知らせします。

一般会計決算の概要

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和されつつあったものの、コロナ禍からの世界経済の回復に伴う原油の需要増や、ロシアによるウクライナ侵攻、円安などの影響により、原油価格や物価高騰が高い水準で推移し、飲食店や観光業を始めとする地域経済も大きな打撃を受けました。こうした中、コロナ禍と物価上昇の厳しい状況を乗り越えるため、村では、住民生活の負担軽減、事業者の経営支援、原油価格高騰対策など、村独自の施策を展開してきました。

一方、村政運営においては、第5次総合計画の基本構想に掲げる将来像「みんなでつくりよう 元気な昭和村」を主眼に、健全な財政運営と村民の皆さんへの質の高いサービス提供を目指し、村づくりを推進してきました。

一般会計での歳入総額は69億3,930万3千円で前年度比は0.7%の増、歳出総額は63億6,715万6千円で前年度比は0.2%の増となりました。自主財源の構成比は49.2%となり、前年度を4.8ポイント上回りましたが、